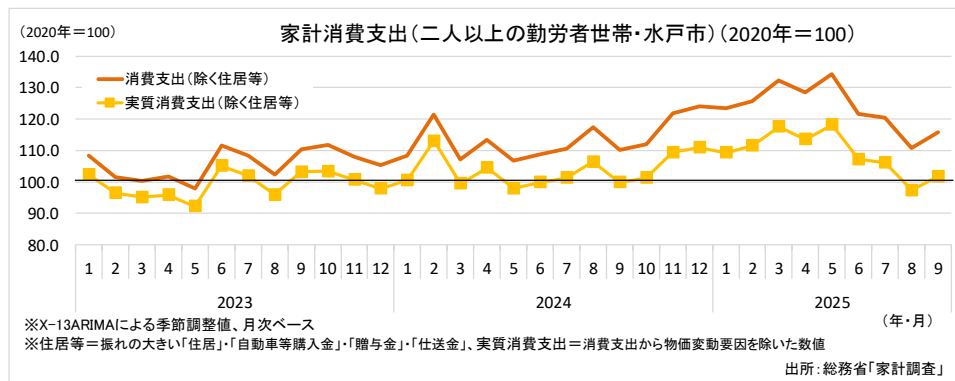


## 県内経済は、一部に弱さがみられるものの、総じてみれば持ち直している

### <今月のポイント>

- 県内経済は、生産活動や住宅投資などに弱さがみられるものの、総じてみれば持ち直している。
- 総合判断および各項目の基調判断は据え置き。個人消費は、消費マインドが依然低調ながら改善の兆しが見られること、供給サイドの販売動向が総じてみれば堅調であることを踏まえ、「一部に弱さがみられるものの、緩やかに回復している」との判断を据え置いた。なお、家計消費支出（水戸市・振れの大きい住居等を除く）について見ると、名目・実質ともに6～8月は減少傾向にあったものの、賃金水準の改善などを背景に9月は再び持ち直しており、底堅さが窺える。
- 先行きは、日中関係悪化や米国通商政策の影響、国内経済政策、為替・金利等の金融市場の動向、物価高や賃上げ、企業の価格転嫁の動向等に注意する必要がある。



### <基調判断・天気図>

	基調判断				
	前月からの 変化	2025年11月調査	25年9月調査	25年10月調査	25年11月調査
総合判断	➡	一部に弱さがみられるものの、総じて みれば持ち直している			
生産活動	➡	弱い動きとなっている			
設備投資	➡	持ち直している			
住宅投資	➡	弱めの動きとなっている			
公共投資	➡	持ち直しの動きが一服している			
個人消費	➡	一部に弱さがみられるものの 緩やかに回復している			
雇用情勢	➡	持ち直している -人手不足感は引き続き高い水準			

◆基調判断に添えた矢印は方向感を、天気図は水準を示します。

## 生産は弱い動きとなっている

9月の鉱工業生産指数（2020年＝100、季節調整値<sup>※1</sup>）は100.5、前月比5.7％増と3か月振りに上昇した。業種別の内訳をみると、輸送機械（同9.1％増）、生産用機械（同14.0％増）、汎用・業務用機械（同6.6％増）などが上昇した。当月は電子部品・デバイスを除くすべての業種で前月比上昇したものの、前月（8月）の悪化幅（7.0％減）を取り戻すには至らなかった。

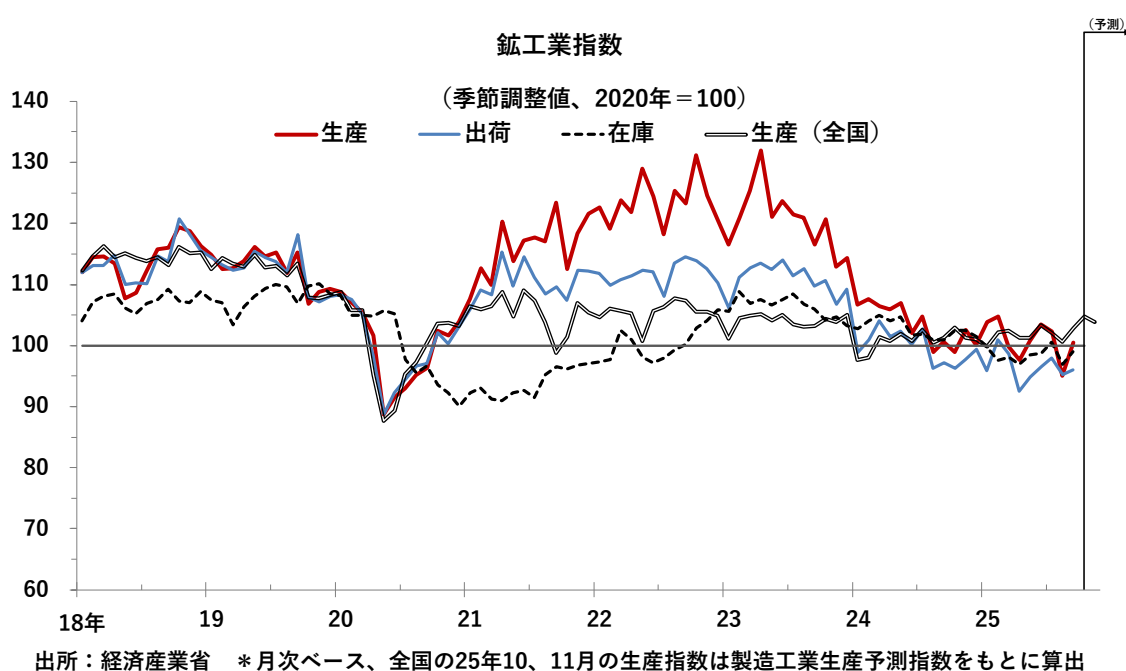
当社の企業調査によると、7-9月期の生産判断DI<sup>※2</sup>は▲8.8％、前期比1.1pt減であった。ヒアリング（11月）では、県北地域の経済関係者から「重電部門、特に高効率の発電設備関連の生産については、データセンターなどの電力需要の高まりを受け、先行きも好調が見込まれる。一方で、建設機械や自動車等の部品について、大手事業所からの協力企業への発注は不透明な状況」との声が聞かれた。

以上を踏まえ、生産活動は総じてみれば「弱い動きとなっている」との判断を据え置いた。先行きについて10-12月期の生産判断DIをみると▲5.4％、今期比3.4pt増の見通しとなっている。もっとも、米国通商政策の影響や自動車メーカー等の輸出関連企業の動向に加え、日中関係悪化の影響についても当面の間注意が必要とみられる。

なお、外需に係る貿易面についてみると、9月の茨城県内税関3支署の輸出額は1,402億円、前年同月比36.3％減と14か月連続で前年水準を下回った。鹿島は、化学製品（同9.5％増）が増加したものの、鉄鋼（同42.7％減）の減少が続き同2.4％減、日立（日立港・常陸那珂港）は建設用・鉱山用機械（同301.3％増）が増加したものの、自動車（同63.3％減）の減少などにより、同48.9％減であった。

※1：原数値から季節的要因を調整した数値

※2：前年比で生産の「増加」と「減少」との回答割合の差



## 設備投資は持ち直している、住宅投資は弱めの動き、公共投資は持ち直しの動きが一服

民間設備投資についてみると、9月の建築物着工床面積（民間非居住用）は、工場や倉庫などの増加により157千㎡、前年同月比145.4%増と3か月振りに前年水準を上回った。

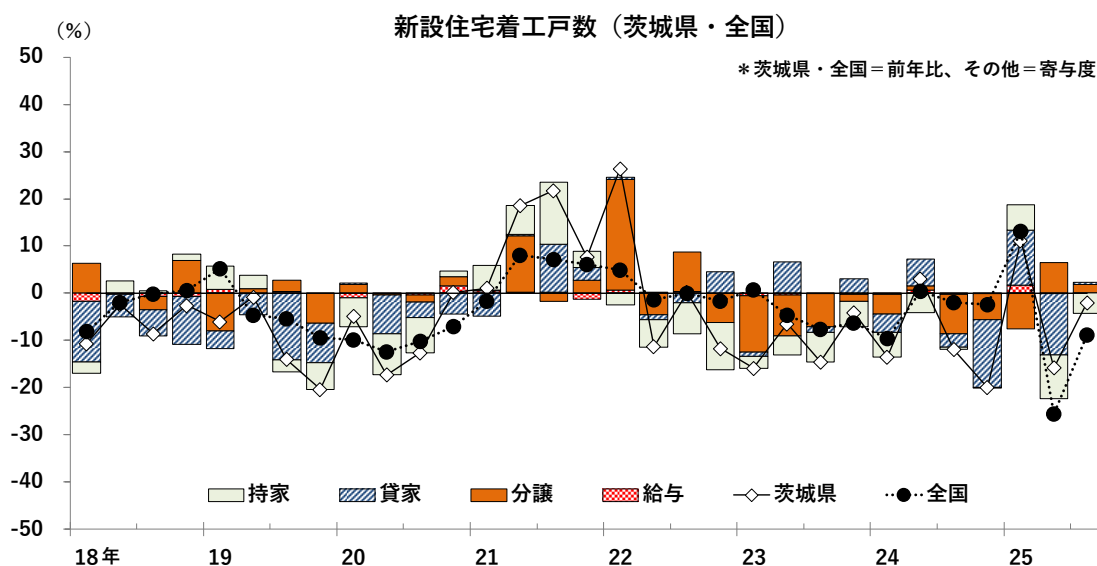
日銀短観（茨城県、9月）によると、県内企業の25年度の設備投資額※（金額ベース）は、全産業で前年度比18.7%増の見通し（製造業：同22.7%増、非製造業：同4.0%増）。当社の企業調査（9月）によると、4-9月期に設備投資を実施した県内企業の割合（件数ベース）は60.7%と、前期比で3.1pt上昇した。両調査の結果からは、企業の投資意欲は全体として底堅く推移していることから、設備投資は「持ち直している」との判断を据え置いた。

9月の新設住宅着工戸数は1,180戸、前年同月比1.7%減と5か月連続で前年水準を下回った。内訳をみると、持家は574戸、同8.7%減と2か月連続で減少した。貸家は409戸、同3.0%増と2か月連続で増加した。分譲住宅は188戸（うち分譲マンション0戸）、同8.7%増と2か月振りに増加した。住宅着工戸数（総数）は、建築基準法改正前の駆け込み需要の反動が落ち着きつつあるものの、引き続き減少が続いている。以上を踏まえ、住宅投資は「弱めの動きとなっている」との判断を据え置いた。

10月の公共工事請負金額は366億54百万円、前年同月比8.3%減と、4か月連続で前年水準を下回った。内訳をみると、県が増加し、国、独立行政法人等、市町村が減少した。前年にあった独法等の大型工事や市町村の校舎工事の反動減が、全体の減少の主な要因となっている。

請負金額の推移を踏まえ、公共投資は「持ち直しの動きが一服している」と判断を据え置いた。先行きは、25年度の県などの公共投資関連予算は概ね前年度並みで推移する見通しにあることから、横ばい圏内で推移すると見込まれる。

※ソフトウェア・研究開発を含む（除く土地投資額）



出所：国土交通省 \* 四半期ベース

## 個人消費は、一部に弱さがみられるものの、緩やかに回復している

10月の乗用車販売台数（乗用車新規登録台数＋軽乗用販売台数）は8,316台、前年同月比10.5%減と、2か月振りに前年水準を下回った。内訳は普通乗用車が同15.9%減、小型乗用車が同15.2%減、軽乗用車が同2.6%増であった。

9月の百貨店・スーパー販売額は、全店ベースで前年同月比1.5%減、既存店ベースは同2.4%減と、ともに8か月振りに前年水準を下回った。専門量販店販売額は、家電量販店が同8.2%増と2か月連続で前年水準を上回った。ホームセンターは同0.5%減と4か月振りに前年水準を下回った。ドラッグストアは3.7%増と53か月連続で、コンビニエンスストアも同2.0%増と17か月連続で前年水準を上回った。

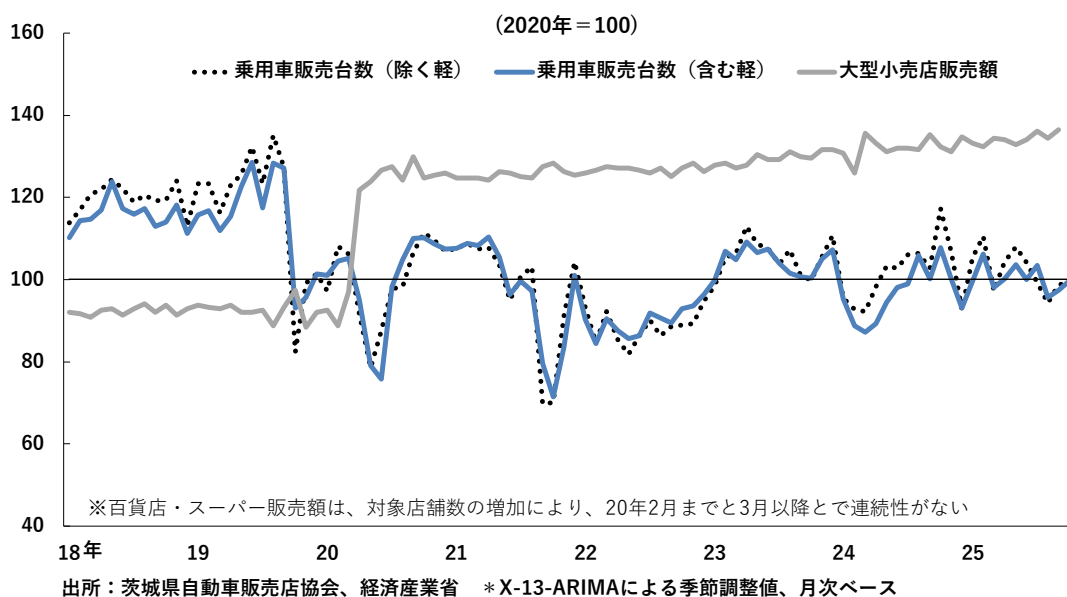
9月の家計消費支出（2人以上の勤労者世帯・水戸市）は、教養娯楽費や食料費などの増加により、前年同月比21.7%増と、4か月連続で前年水準を上回った。

消費マインドに関して、9月の「茨城県景気ウォッチャー調査」をみると、家計動向関連DI(現状判断)は45.1、前期比0.9pt増と、判断の目安となる50を下回ったものの、4四半期振りに上昇した。また、10月の「景気ウォッチャー調査－北関東－」の家計動向関連DIは44.5、前月比2.0pt増と、4か月振りに上昇した。

ヒアリング（11月）では、「販売単価の上昇により店舗売上は堅調に推移しているが、買上点数の減少とならないよう価格施策に注意している」（食品スーパー）といった声があったほか、観光分野では「（屋外施設のため）天候にもよるが、イベント開催時の来場者数は総じて好調」（観光施設）との声も聞かれた。

このように個人消費は、消費マインドが依然低調ながら改善の兆しが見られること、供給サイドの販売動向が総じてみれば堅調であることを踏まえ、「一部に弱さがみられるものの、緩やかに回復している」との判断を据え置いた。

乗用車販売台数、百貨店・スーパー販売額



## 雇用情勢は持ち直している―人手不足感は引き続き高い水準

9月の雇用関連指標（ハローワークの求人対象）は、有効求人倍率（季節調整値）が1.14倍、前月比0.02pt減と2か月連続で低下した。新規求人倍率は2.00倍、前月比0.14pt増と3か月振りに上昇した。就業地ベースでの有効求人倍率は1.33倍であった。

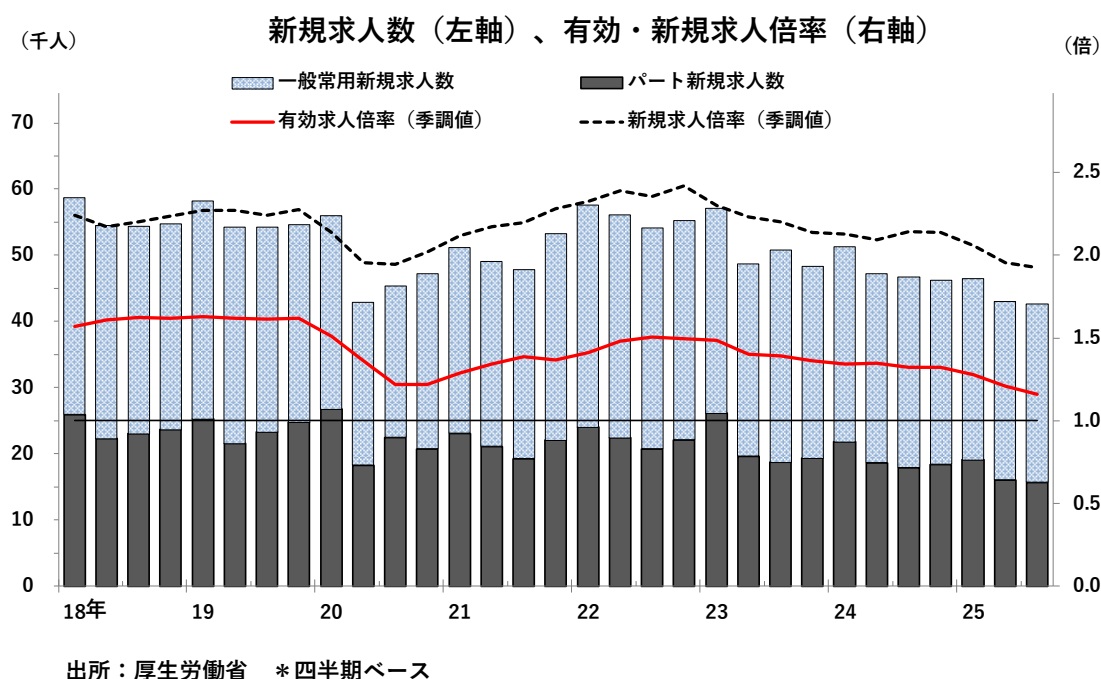
新規求人数は14,565人、前年同月比11.3%減と9か月連続で前年水準を下回った。新規求職者数は7,525人、同1.7%減と2か月連続で前年水準を下回った。新規求人数（パートを除く）の内訳を産業別にみると、学術研究、専門・技術サービス業（同48.8%増）、情報通信業（同41.6%増）等が増加し、生活関連サービス業・娯楽業（同22.2%減）、卸売業・小売業（18.8%減）、サービス業（他に分類されないもの）（同16.0%減）、医療・福祉（同14.7%減）等が減少した。

失業者を示す雇用保険受給者数（実人員数）は10,433人、前年同月比16.1%増と、5か月連続で前年水準を上回った<sup>※1</sup>。一方、日銀短観（茨城県）によると、25年9月の企業の人手不足感を示す雇用人員判断DI<sup>※2</sup>（全産業）は▲32と、引き続き大幅な「不足」超となっている。当社の「人手不足に関する企業調査」によると、25年9月時点における県内企業の正社員の充足度は「不足」が56.0%で最も多かった。

このように、雇用情勢は、有効求人倍率が弱めの動きにあるものの、人手不足感が引き続き高水準であることを踏まえ、労働者側から見て「持ち直している」との判断を据え置いた。先行きの雇用情勢についても底堅く推移することが期待される。もっとも、県内の広告求人数は前年割れに転じており、海外・国内景気の悪化により、企業の雇用に対する姿勢に変化が生じるかどうか注視する必要がある。

※1：雇用保険受給者数の増加が続く背景には、25年4月の雇用保険法改正の影響（改正により、自己都合離職者の給付制限期間が、離職後2か月間から1か月間に短縮）があるとみられる。

※2：「過剰」－「不足」



## 茨城県経済動向 基調判断の推移

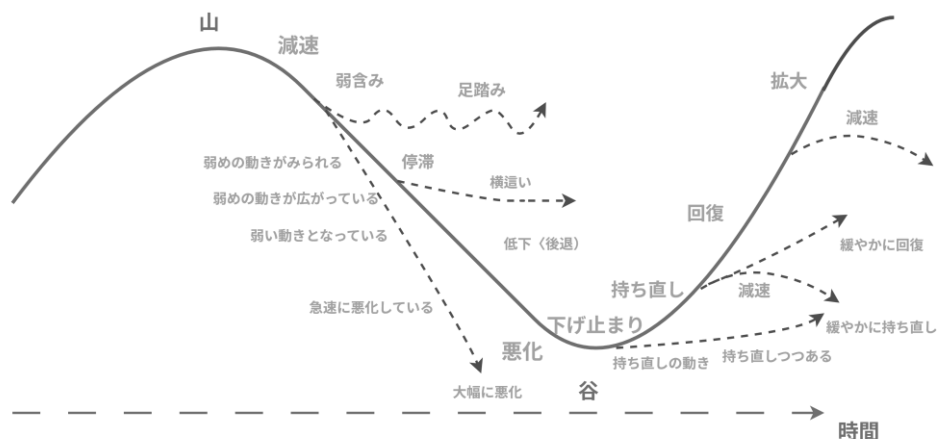
		基調判断
2022	3	県内経済は、新型コロナウイルスの影響により、持ち直しの動きが一服している
	4	県内経済は、新型コロナウイルスの影響により、持ち直しの動きが一服している
	5	県内経済は、一部に弱さがみられるものの、持ち直しの兆しが見られる
	6	県内経済は、一部に弱さがみられるものの、持ち直しの兆しが見られる
	7	県内経済は、一部に弱さがみられるものの、持ち直しの兆しが見られる
	8	県内経済は、一部に弱さがみられるものの、持ち直しの兆しが見られる
	9	県内経済は、一部に弱さがみられるものの、持ち直しつつある
	10	県内経済は、一部に弱さがみられるものの、持ち直しつつある
	11	県内経済は、資源高などの影響を受けつつも、持ち直しつつある
	12	県内経済は、資源高などの影響を受けつつも、持ち直しつつある
2023	1	県内経済は、資源高などの影響を受けつつも、持ち直しつつある
	2	県内経済は、資源高などの影響を受けつつも、持ち直しつつある
	3	県内経済は、物価高などの影響を受けつつも、持ち直しつつある
	4	県内経済は、物価高などの影響を受けつつも、持ち直しつつある
	5	県内経済は、物価高などの影響を受けつつも、持ち直しつつある
	6	県内経済は、物価高などの影響を受けつつも、持ち直しつつある
	7	県内経済は、物価高などの影響を受けつつも、持ち直している
	8	県内経済は、物価高などの影響を受けつつも、持ち直している
	9	県内経済は、物価高などの影響を受けつつも、持ち直している
	10	県内経済は、物価高などの影響を受けつつも、持ち直している
	11	県内経済は、物価高などの影響を受けつつも、持ち直している
	12	県内経済は、物価高などの影響を受けつつも、持ち直している
2024	1	県内経済は、物価高などの影響を受けつつも、持ち直している
	2	県内経済は、物価高などの影響を受けつつも、持ち直している
	3	県内経済は、一部に弱さがみられるものの、総じてみれば持ち直している
	4	県内経済は、一部に弱さがみられるものの、総じてみれば持ち直している
	5	県内経済は、一部に弱さがみられるものの、総じてみれば持ち直している
	6	県内経済は、一部に弱さがみられるものの、総じてみれば持ち直している
	7	県内経済は、一部に弱さがみられるものの、総じてみれば持ち直している
	8	県内経済は、一部に弱さがみられるものの、総じてみれば持ち直している
	9	県内経済は、一部に弱さがみられるものの、総じてみれば持ち直している
	10	県内経済は、一部に弱さがみられるものの、総じてみれば持ち直している
	11	県内経済は、一部に弱さがみられるものの、総じてみれば持ち直している
	12	県内経済は、一部に弱さがみられるものの、総じてみれば持ち直している
2025	1	県内経済は、一部に弱さがみられるものの、総じてみれば持ち直している
	2	県内経済は、一部に弱さがみられるものの、総じてみれば持ち直している
	3	県内経済は、一部に弱さがみられるものの、総じてみれば持ち直している
	4	県内経済は、総じてみれば持ち直しているものの、トランプ通商政策により不透明感が強まる
	5	県内経済は、総じてみれば持ち直しているものの、トランプ通商政策により不透明感が強まる
	6	県内経済は、総じてみれば持ち直しているものの、トランプ通商政策による不透明感がみられる
	7	県内経済は、一部に弱さがみられるものの、総じてみれば持ち直している
	8	県内経済は、一部に弱さがみられるものの、総じてみれば持ち直している
	9	県内経済は、一部に弱さがみられるものの、総じてみれば持ち直している
	10	県内経済は、一部に弱さがみられるものの、総じてみれば持ち直している
	11	県内経済は、一部に弱さがみられるものの、総じてみれば持ち直している

## 各指標の動向判断の推移

		生産	住宅	設備投資
2024	10	弱含んでいる	弱含みにある	持ち直している
	11	弱含んでいる	弱含みにある	持ち直している
	12	弱めの動きとなっている	弱含みにある	持ち直している
2025	1	弱めの動きとなっている	弱めの動きとなっている	持ち直している
	2	弱めの動きとなっている	弱めの動きとなっている	持ち直している
	3	弱めの動きとなっている	弱めの動きとなっている	持ち直している
	4	弱めの動きとなっている	弱めの動きとなっている	持ち直している
	5	弱めの動きとなっている	弱めの動きとなっている	持ち直している
	6	弱い動きとなっている	弱めの動きとなっている	持ち直している
	7	弱い動きとなっている	弱めの動きとなっている	持ち直している
	8	弱い動きとなっている	弱めの動きとなっている	持ち直している
	9	弱い動きとなっている	弱めの動きとなっている	持ち直している
	10	弱い動きとなっている	弱めの動きとなっている	持ち直している
	11	弱い動きとなっている	弱めの動きとなっている	持ち直している

		公共投資	個人消費	雇用
2024	10	持ち直している	一部に弱さがみられるものの 緩やかに回復している	持ち直している - 労働需給は引き続きタイトな状況
	11	持ち直している	一部に弱さがみられるものの 緩やかに回復している	持ち直している - 労働需給は引き続きタイトな状況
	12	持ち直している	一部に弱さがみられるものの 緩やかに回復している	持ち直している - 労働需給は引き続きタイトな状況
2025	1	持ち直している	一部に弱さがみられるものの 緩やかに回復している	持ち直している - 労働需給は引き続きタイトな状況
	2	持ち直している	一部に弱さがみられるものの 緩やかに回復している	持ち直している - 労働需給は引き続きタイトな状況
	3	持ち直している	一部に弱さがみられるものの 緩やかに回復している	持ち直している - 労働需給は引き続きタイトな状況
	4	持ち直している	一部に弱さがみられるものの 緩やかに回復している	持ち直している - 労働需給は引き続きタイトな状況
	5	持ち直している	一部に弱さがみられるものの 緩やかに回復している	持ち直している - 労働需給は引き続きタイトな状況
	6	持ち直している	一部に弱さがみられるものの 緩やかに回復している	持ち直している - 労働需給は引き続きタイトな状況
	7	持ち直している	一部に弱さがみられるものの 緩やかに回復している	持ち直している - 労働需給は引き続きタイトな状況
	8	持ち直している	一部に弱さがみられるものの 緩やかに回復している	持ち直している - 労働需給は引き続きタイトな状況
	9	持ち直している	一部に弱さがみられるものの 緩やかに回復している	持ち直している - 労働需給は引き続きタイトな状況
	10	持ち直しの動きが一服している	一部に弱さがみられるものの 緩やかに回復している	持ち直している - 労働需給は引き続きタイトな状況
	11	持ち直しの動きが一服している	一部に弱さがみられるものの 緩やかに回復している	持ち直している - 人手不足感は引き続き高い水準

## 基調判断・動向判断の表現方法（イメージ）



「茨城県経済動向」は旧常陽地域研究センター（常陽アーク）が  
1969 年より継続してまいりました月例調査を、  
2019 年 4 月以降、常陽産業研究所が継承・実施しているものです

表紙の通番は常陽アーク時の通番を引き継いでおります

常陽産業研究所

地域研究センター

- ・本資料は、当社が独自に集計・入手しているデータを除き、2025年11月25日現在で公に利用可能な統計指標に基づき作成されています。
- ・公開されている統計指標は、過去に遡及して改訂されることがあります。
- ・統計指標を利用する際は、常に最新の公表資料を参照する必要があります。
- ・本資料は、統計指標とそれに基づく判断が正確であるよう最善を尽くしておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。
- ・本資料に示した将来に関する全ての記述は、現時点での判断を示しているに過ぎません。



